

まちあるき宇治山田駅方面ルート2

2022年8月5日(金)

伊勢志摩バリアフリーツアーセンター 野口あゆみ



市役所正面(信号側)通路:グレーチングの網目が粗いため、車いすのキャスター、杖、ヒールなどが落ちる。



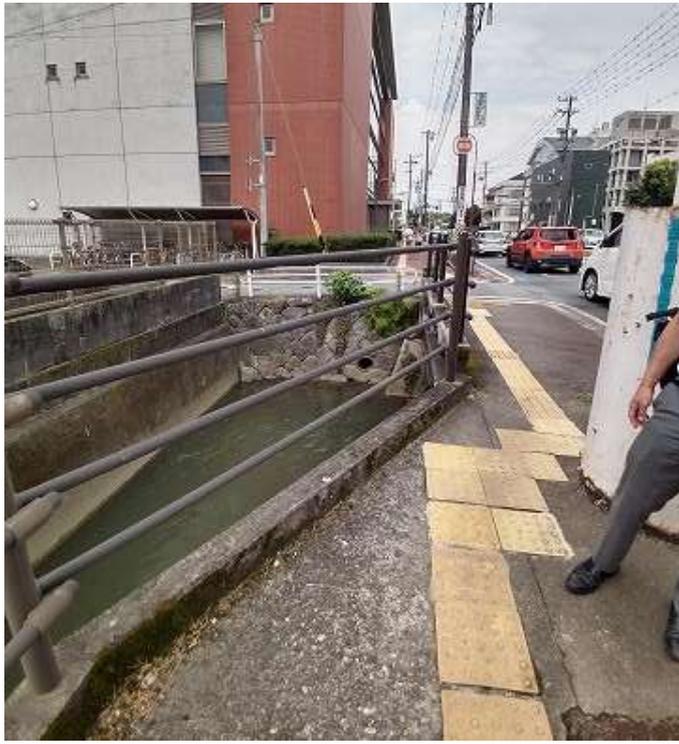
裁判所横:どこへも誘導されない、誘導ブロック。どこかへつなげるべき。



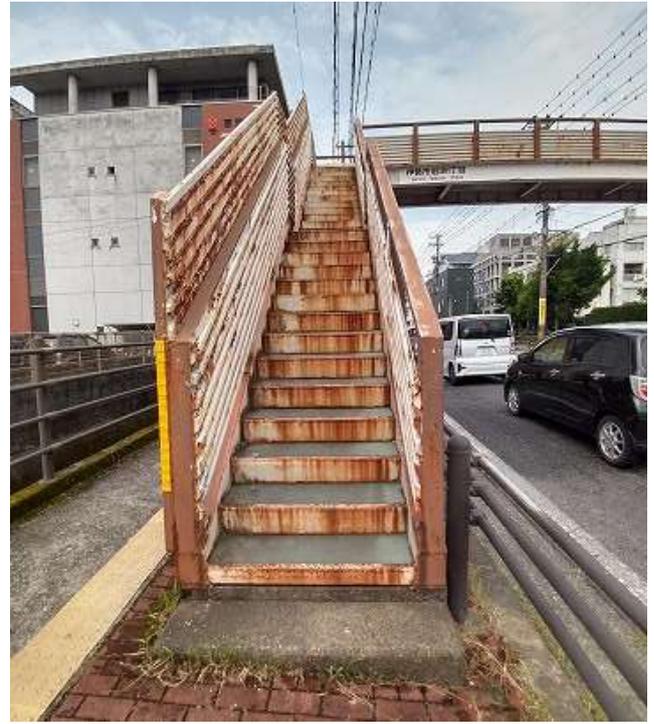
百五伊勢支店前横断歩道:歩道と車道の高さの差があり、Vの字になり、水たまりがでやすい。車いすでもV字はキャスターが引っかかり転倒のおそれあり。



歩道橋下:誘導ブロックがギリギリまであり、歩道橋の柱にぶつかりそう。もう少し手前にと言いたい、そのスペースなし。



歩道橋付近:水路の上に歩道をかぶせて、拡幅できない？



歩道橋:需要(利用度)を調査して、必要性を確認しては？



御幸道路沿い:駐車場がたくさんあり、歩道を車が横切るケースが多数ありそう。歩行者の危険度高い。



たか屋手前:歩道の真ん中に標識のポールあり。ずらすことができないか？警察に確認。



みずほ銀行前:歩道と車道の高低差あり、車いすが通りにくい。グレーチングの網目が粗いのも気になる。



みずほ銀行前:銀行の正面玄関に段差あり。裏側からは入るはずですが、その案内がこちらにあるといい。



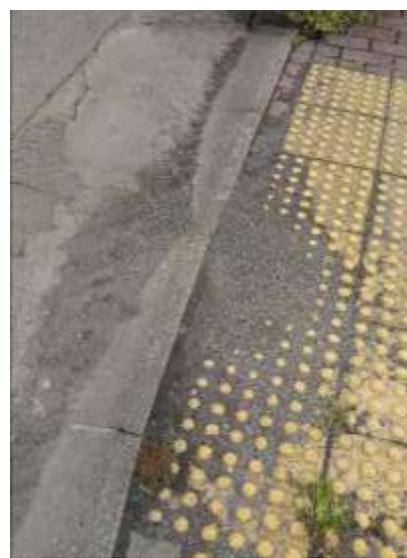
三十三銀行前:誘導ブロックの途切れ、中途半端の誘導ブロックはなくしたほうがいい。



三十三銀行前:銀行のスロープ近くのグレーチングの網目が粗い。



駐輪場前:緊急ボタン。いざという時、子どもたちにどのようなときに使用するなどの指導?があるといい。



駐輪場・加藤時計店前:横断歩道付近の車道と歩道の間には砂がたまる。歩行者や自転車が滑る危険性。



駐輪場前:短い傾斜だが、角度が急で一人では難しい。



中条眼科前:横断歩道のグレーチングの網目が粗い。



やすらぎ行きのバス停:段差が20cmと高い。一旦この段差を降りてからバスに乗り込むため高齢者に負担。



このゾーンはやすらぎの他、忍者キングダムや宿泊施設の齋王の宮への送迎バスのりばでもある。



タクシー乗り場:常駐する案内スタッフは、ソフト面でカバーするサービスとして嬉しい。



宇治山田駅:時刻表を見上げることや字の大きさなどが高齢者には見にくいのでは?見上げない時刻表がほしい。



宇治山田駅:見上げるタイプの案内表示は高齢者には負担なため、低い位置の案内表示も併設してあるといい。



宇治山田駅:誘導ブロックの同色混合。



宇治山田駅:階段壁と柱の間は、60cm未満で車いすの通行はできない。せめてこの幅が車いす通行できる幅があると、安心してホームを通行できる。



宇治山田駅:ホーム上の柱を避けると、線路側を通ることになる。点字ブロックを踏むことになり、傾斜も線路側に傾いているため、車いすは恐怖を感じる。



宇治山田駅:エレベータ。音声案内なし。低い位置の操作パネル側に点字表記なし。浮き出し文字もあるとよい。



宇治山田駅:誘導ブロックの同色混合。



宇治山田駅:駅1階、お土産スペースが縮小されて寂しい。



響ホールの駐車場入り口:グレーチングの網目は細いものの、車道への傾斜もあり、車いすでは通行しにくい。車の往来で危険度もあり。ちなみに響ホールへ上がるエレベータがこの先にある(正面入り口に案内表記が欲しい)ため、駅から来るとここは必ず通る。



宇治山田駅～伊勢市駅歩道:歩道というより側溝のふたの上を通る感じ。通路上に標識などのポールあり。



JR 踏切:歩行者、自転車が横切る形で通行しにくい。通行するゾーンに色付や、横断表示を地面に記して車両側に注意喚起するなどできないか？



信用金庫付近:JR 踏切側の歩道側のみにある誘導ブロック。推奨ルートになるのかもしれないが、その延長線上にJRの踏切手間を横切る危険ゾーンがある。



吹上交差点:通行真ん中にある電柱が視覚障害者に危険。吹上交差点から現れる誘導ブロック。反対側からだと途切れる誘導ブロック。



吹上交差点:横断歩道に平行にあるグレーチングの目が粗い



宇治山田駅バス停:段差 15cm。低床バスがギリギリに幅寄せすれば、段差なしやスロープの傾斜なく乗車できるが、歩道から離れてバスが停車すると、15cmの段差を降りなければならない。ポールの意図は？←確認